

学内共同教育研究施設等



●ベンチャーインキュベーションセンター(AU-VIC)

ベンチャーインキュベーションセンターは、地域にねざし、新たな起業を目指し、企業・大学等・行政の産学官一体となった共同研究拠点を整備するために平成22年4月、設置しました。①秋田県内の科学技術人材の強化と高能力化、②秋田大学発の企業化研究、③地元企業の活性化による雇用の増大、④学生への教育効果の増大、⑤国際的企業化の発展を目指しております。



●産学連携推進機構

大学の優れた研究成果を切れ目なく実用化につなぎ、イノベーション創出や社会への成果還元に資するため、学内外に向けた産学連携の総合支援窓口としてのワンストップサービスにつとめています。

産学連携・共同研究部門と知的財産部門があり、両部門の共同で、研究シーズの発掘・顕在化から産業界等との共同研究・受託研究および研究成果の技術移転まで社会と連携した活動を推進しております。

これらの活動を円滑に進めるため、科学技術相談、技術セミナー開催、研究シーズと地域ニーズとのマッチング活動、知的財産権保護等の産学連携活動をしております。



●国際資源学教育研究センター

平成21年10月1日に、国際的視野を持つ資源人材の養成のための教育研究拠点となるべく設立されました。

資源保有国からの資源系大学・研究所等の設立や技術協力・人材養成の要請への対応、さらには、国内の資源系大学生や大学院生、我国や資源保有国の資源関連企業からの研修生や研究生を受け入れ、本学工学資源学研究科の地球資源学科、環境応用学科や大学院資源学関連の各専攻とも連携して、集中的に教育する実践的かつ高度な資源開発人材養成等を目指しています。



●ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

平成13年5月に研究棟が竣工して以来、産業界の将来のニーズを捉えた新たなシーズ技術の開発に基づく新産業の創出を目指して、「希少元素物質に注目した新リサイクル技術の開発と高度素材設計に関する研究」をプロジェクト課題として、IT産業やナノテクノロジーに必要な不可欠な希少元素に着目し、ベンチャー・マインドをもつ創造的な大学院学生や若手研究者の育成も視野にいれた教育研究活動を、全学から研究員を募り、研究設備の充実を図りながら行っています。同時に、地域社会・地域産業との連携や国内外の教育研究機関との共同研究により研究拠点形成を進めています。



●総合情報処理センター

約270台の教育用情報端末と高速な情報ネットワークを中心に、学内の情報環境が機能的に活用されるように管理しています。学生や教職員が誰でも利用出来る無線LANネットワークや、高度な科学技術計算を支援する高速演算サーバの運用も行っています。



●バイオサイエンス教育・研究センター

これまであった医学部附属動物実験施設・医学部附属実験実習機器センター・医学部R1センターの3つの共同教育研究施設を統合して、大学のみならず地域の研究施設や医療施設、企業の研究者も効率的に利用できる学内共同教育研究施設として平成16年度に設置されました。

ライフサイエンス研究のための最新解析機器の提供、バイオ関連実験サービスの提供、実験動物の適切な管理、放射性同位元素を用いた実験環境の提供などのサービス業務を行っているほか、学内のバイオ関連研究の適正審査、福祉・医療技術の開発・応用研究、新規実験動物の作成・開発研究などの研究活動も同時に展開しています。



●放射性同位元素センター

放射性同位元素は、正しく取り扱えば化学的反応メカニズムなどを解明する上で極めて強力なツールとなります。本センターは、放射性同位元素を使用した研究・教育に対する支援および放射線取扱業務に関する安全管理を目的として運営されています。化学実験室、 -10°C および 4°C 低温実験室、放射能測定室、機器測定室、R1貯蔵室などからなり、より高度な研究環境を提供しています。



●環境安全センター

教育研究および診療に伴い生じる有害物質を含んだ廃液等の処理を行い環境保全に資するため、有害廃液等を無機系廃液、有機系廃液および有害固形廃棄物に区分し、分別収集により、これらの適性処理・処分を行っています。多種・多様な性状を有する廃液等は研究機関特有であるため、処理技術の検討・改善を行い適正処理に努めています。また、学内外において環境科学等に係る教育・実習および共同研究を実施しています。



●戸賀臨海実習所

学芸学部(現教育文化学部)創立90周年並びに手形地区統合記念事業として、卒業生、教職員等の協力で昭和39年12月に男鹿半島戸賀湾の一角に建設された施設で、研修室や50人収容の宿泊室などを整備し、男鹿半島の自然、地質、生物、人文科学等の調査の基地として活用できるだけでなく、学生の研修および課外活動並びに職員の研修および福利厚生に資することを目的としています。



●乳頭ロッジ

本学学生の研修・課外活動、職員の研修および福利厚生施設として、平成8年11月に設置された施設です。同施設は、十和田八幡平国立公園の南部、乳頭温泉郷(秘湯全国の温泉100選)の一角にあり、周辺は高山植物の宝庫といわれる秋田駒ヶ岳、深度日本一の田沢湖など、また乳頭キャンプ場、たざわ湖スキー場など豊かな自然環境に恵まれ、四季を通じて多様な活動が可能となるところです。